（十四日夕刊）

磐城新聞

休刊　大祭第一第三日曜
定價（壹枚二錢、壹ケ月五十錢）郵税十錢
廣告料（雜報欄行五十錢　場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人　遊沼龍輔
發行所　福島縣平町田町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

今や青年奮起の秋（八）

磐城佑賢學舍長　大和田豐吉

孟子は斯う言ふて居る曰く力を以て仁を假る者は覇たり徳を以て仁を行ふ者は王たりと申し是に力を以て人を服する者は心服するにあらざるなり力足らざればなり徳を以て人を服する者は中心悅んで誠に服するなりと申され　桓武天皇の詔には惟ふに王は國を經するに德政を先と爲すとも仰せられて居る是我が國太古以來一定せられたる大道にして代々の　天皇陛下を皆ねは行は　せらるゝに宵衣旰食日亦足らぬのである明治天皇陛下の御製に曰く

暑しともいはれざりけりにゐかへる水田に立てろしづを思へば

是王道の現はれの御仁慈であり

年々におもひやれども山水を汲みて遊ばん夏なかりけり

是王道の現はれの御勵精である是が即ち我が國体の萬世一系たる基礎にして取りも直さず此の御神勅は御子孫への御教訓書にして同時に我が大日本帝國の

永遠の豫言書であるとも見る事が出來る故に私は此の御神勅を稱して縱の使命と申し上ぐるのであります然らば私の所謂橫の使命とは何を申すのであるかと言はゞ私は伊勢の五十鈴川上の神路山にまします天照大御神の御前に白す祝詞は即ち之を橫の使命と申すのであります要するに縱の使命は未來永遠に我が帝國の時間的に繼續する事を上に立たせられたる天照大御神より卽せられたる御言葉であり橫の使命は廣大無辺に我が帝國の空間的に擴張する事を下に事へまつる

臣民が上に立たせられたる主權者に御契ひ申す言葉である次に此祝詞を申し上げませう

辭別けて伊勢に坐す天照大御神の太前に白さく皇神の見霽るかします四方の國は天の壁立つ極み國の退き立つ限り青雲の棚びく極み白雲の降り居向か伏す限り青海原は棹かち干さず舟の艫の至り留る大海原に舟滿ち續けて陸より行く道は荷緒縛ひ堅めて磐根木根履みさくみて馬の爪の至り留まる限り長道間なく立ち續けて狹き國は廣く峻しき國は平らけく遠き國は八十綱掛けて引き寄する事の如く皇太御神の寄つり給へは云々

是であります。

講談

血で血を洗ふ

(112)

高橋掬太郎創作
布施平八郎揮畫

狐と狸

早間重太夫は首級を盜みに入つて失敗した事があるので三人の者によく注意を與ねた、宿直の者にも若し騷がしい曲者呼ばわりの起つた時でも知らぬ顏でゐる樣にと命じておいた、宿直の者は皆彼の一味の者であつたから彼の命のまゝになるのであつた。

お乳の人が寶部左內の妻であるといふことも彼は都合がいゝと思つた。

たゞ苦手なのは神部清左工門が産所の次の室に宿直してゐるといふことであつた、で彼は何とかして清左工門を退出させようと思つて

「神部氏、お疲れでござろう、お退きになつてどゆつくりお寢みなされたがようござる」

と、親切らしく云つた。けれど清左工門の方でも胸に一物あるから彼の言葉に應じなかつた。

「いや、何も疲れるほどのこともござらぬ、御貴殿こそ疲れなされたでござろうお退りなされては如何でござる」

と却つて重太夫を追ひ拂ふように云つた

「いや拙者こそ何も疲れる樣なことはござらぬが承れば貴殿の御妻女も今月が生み月とのこと今夜あたり或は産みにならぬとも限らぬ、お歸りなされたがようござる」

「ナニ、拙者の妻はまだ大丈夫の樣でござるそれに産氣が催してまいれば直ぐに知らして參るに依つて決して御心配はいりませぬ」

と清左工門は常になく頑張つて退出しようとしなかつた

それで重太夫は忍び込ませる者が清左工門に見つけられては一大事と思つたので三人に命じ二人に見張りさせることにしたのであつた。

ところが神ならぬ身の清左工門は此の樣なたくらみがあることとは知らないから千代や左內の妻とすつかり諜し合はせ曲者が入つたら直ぐ子を渡してやる、そして曲者が逃げ出してしまつてから聲をあげて人を呼ぶそこへ清左工門がとび出して來て曲者の後を追ふ裏門から逃げ出して行く曲者を追ふて門外に飛び出し左內が抱いて待つてゐる我が子を抱へて引き返し曲者は逃げ去つたが子樣だけは取り戻しましたといふ、といふことに段取はきまつた

深雪の方にもこのことを話してどんな騷が起つても驚かないやう注意した。そして夜の更けるを待つた

やがて夜はジン／＼と更けた八ツ（午前二時）の頃大奧の庭に面した廊下の雨戶が音もなく開いた、雨戶に締りがなくかうしてたやすく開いたのは清左工門が用意をしておいたからであつた。雨戶を開けて黑裝束に覆面した一人の曲者が足音を忍ばせて廊下を這ふやうに入つてやがて産所の次の間唐紙を靜かにあけたと其處には乳の人なる左內の妻が幼兒を抱いて待ちかねてゐた。

物音一つ咳一つしない靜寂な深更の大奧曲者が入ると課し合せてある通りに曲者の姿を見て左內の妻は灯をフッと吹き消した、そして暗の中で抱いてゐた子を渡すとくせ者はそれを受取つて廊下を辷る樣に走つて庭に降りた左內の妻は頃合を計つて

「アレーッ」

と叫んだ、その聲に驚いたやうに

「やあ何事でござる」

と次の間から清左工門が飛び出して來た

「お家老樣一大事でござりまする」

「ナニ、一大事とな」

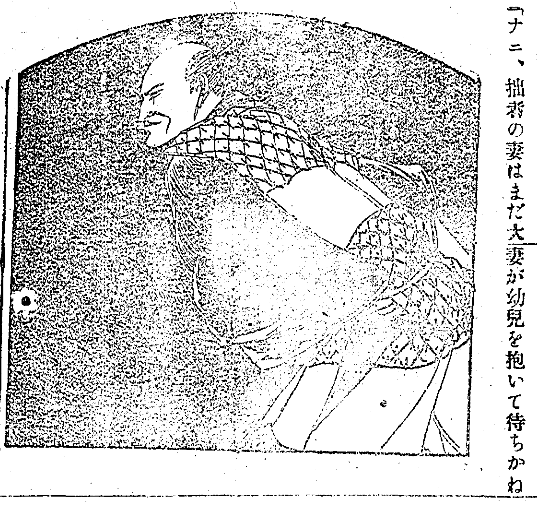
「くせ者が忍び込んでお子樣を奪つて逃げましてございます」

「ナニ子樣を奪はれたとな、それは大變、己れくせ者」

と清左工門は後を追つた

ところが逃げ出したくせ者の後からムンズとばかり不意に組みついたものがあつた

くせ者はハッと驚いた



廣告

舊盆特別大興行
當ル十四日ヨリ
五日間短期興行
毎日晝夜公開

大久保彦左衛門　全五巻

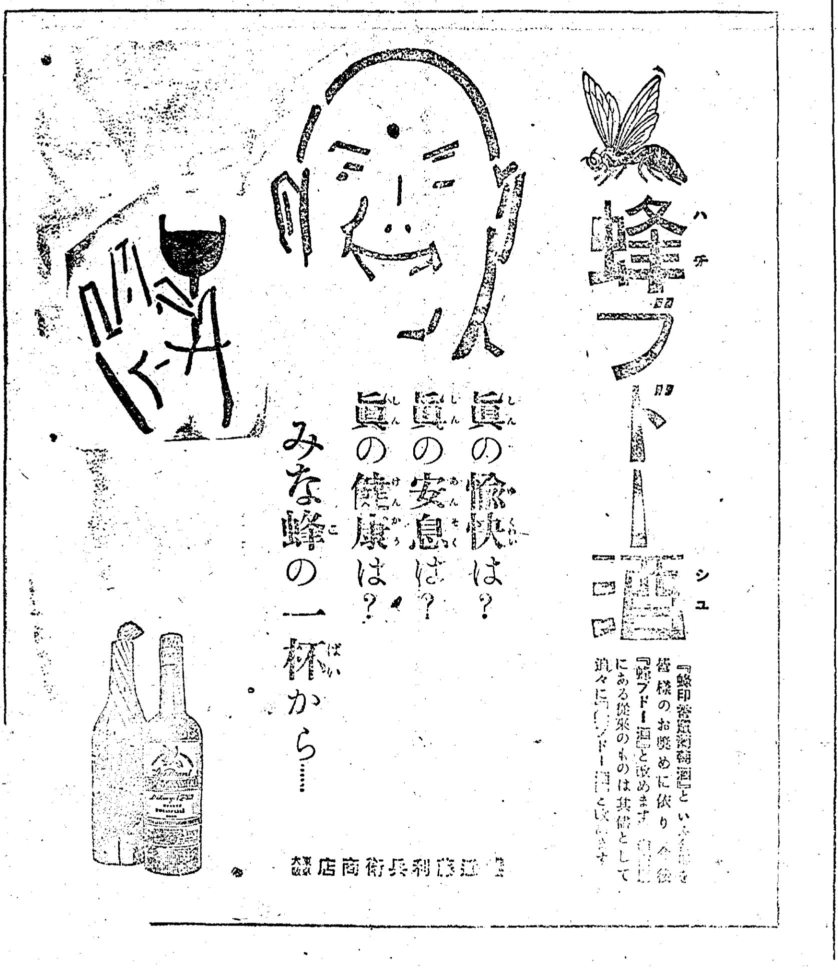
日活現代怪奇連續活劇
死の寶庫　終篇
西條香代子、島耕二主演

本映畫協定料金打破
破格入場料
特等……六〇
一等……五〇
二等……四〇
小人各等半額
平館

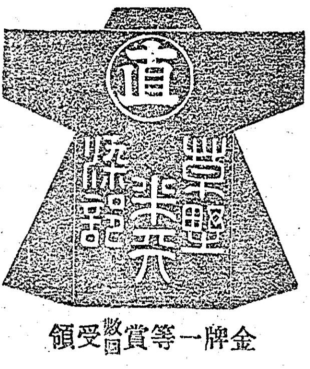
謹告
◇本日ヨリ第二回
文化納涼園
開催に際し御來客に限り冷しコーヒー進上致します
何卒御來遊下さる樣御待申ます
メンチカツ一品金十五錢
出前も致します
カフエータヒラ
平町一丁目（電話六二〇番）

鐵筋コンクリート
鐵骨組立　和洋建築　文化式建築　設計監督
土木、建築、請負業
合資會社　丸三森川組
社長　大森鎮平
東京日本橋南茅場町二〇
電話茅場町66四五二番

至急御知せ
昨年に增した出來榮の
磐城名物　盆踊唄　二枚
また／＼平町若連に依つて吹込れました賣切にならぬ內是非……
平町四丁目
會田時計店
電話三六三



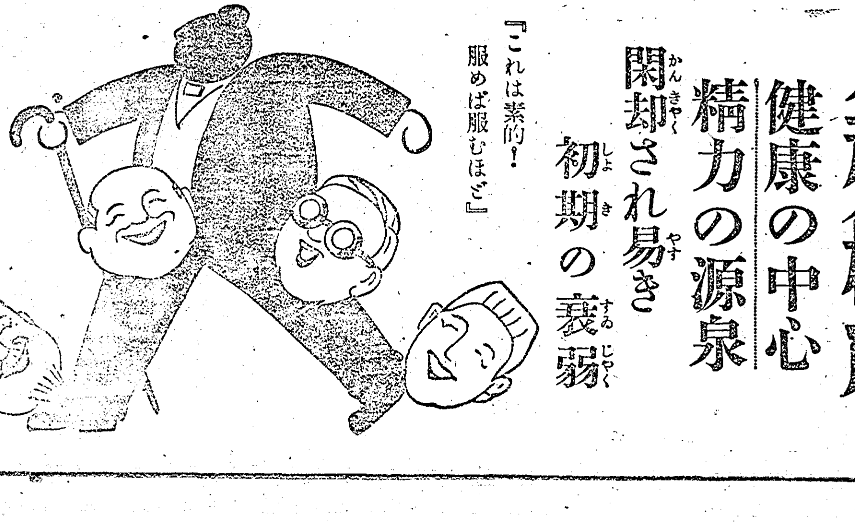
蜂ブドー酒
眞の愉快は？
眞の安息は？
眞の健康は？
みな蜂の一杯から……
『蜂印香竄葡萄酒』といふ名稱を皆樣のお奬めに依り今後『蜂ブドー酒』と改めます
近藤利兵衞商店



金牌一等賞受領（數回）
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番
◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キニ際シ有利ニ御相談申上候

營業品目
絹糸、絹紡績
綿糸、染糸、組紐
漁網糸、人造絹糸
カタン糸、輸出用加工糸
眞綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社　藤掛商店
電話浪花三三五一番
振替東京三三四〇番
糸界の羅針盤糸紐通報御一報次第直送
小店員募集
十五才以上十七八才迄　五名
小學校卒業程度御希望の方磐城新聞社御出で下さい。委細面談

內科　小兒科　皮膚科　花柳科
平町舊城跡（城山）
青沼醫院
醫學士　青沼淡夫
電話四〇三番



生殖機能は
健康の中心
精力の源泉
閑却され易き初期の衰弱
『これは素的！服めば服むほど』

トッカピン

生殖機能が＝減退すれば全身衰弱して、所謂何事にも無能の神經をも發する、遺精や早漏の徴候に油斷せず、直ちに召せ、トッカピンを

神經衰弱が＝原因で罪を犯し、精神に異狀を來し、落伍者となり、甚だしきは自殺するものさへある！何といふ恐しい現象であらう。醫藥に進まず斯界の權威トッカピンを服んで直ちに復活を…

不眠症＝一晩の不眠がされ程身心を疲はすであらうか…二日三日と不眠が續けば身體は綿のように衰弱する、何んとかして快い睡眠を求めたいといふ人にトッカピンは眞向きです

精力增進＝生存競爭は日一日激烈となつて行く現代に「力」がなくて何が出來よう…百萬圓の金よりも尊きは健康精力である。高藥の如く清新なる活力を求むるものは服め！

戶塚醫學博士推奬

藥價
三十錠　三円
五十五錠　五円
（攜帶容器附）
百五錠　拾円
（攜帶容器附）
三百十錠　廿円
（攜帶容器附）
（送料）一圓一錢　一圓三錢

發賣元　丁子堂藥房
東京市銀座新肴町八番地
振替口座東京七二二一番
大阪市西區立賣堀北通二ノ九
振替口座大阪百六番

◎全國到る處の藥店にあり

平町商店の一ケ年 賣上總額四百萬

これでも前年の二割減 三都市に遜色なし

平町役場農商課の調査に依る昨年七月末以來今年七月末に至る各商店の主要商品の賣上總額は三百四十九萬八千八百圓にして其の內譯は（吳服太物）御六十五萬五千百圓、小賣六十四萬九千百圓、（荒物）御七十三萬三千圓、小賣三十三萬一千七百圓（菓子）御六萬八千圓、小賣二十九萬五千四百圓（海產物）十五萬五千圓（賣藥）十五萬六千九百圓（鐵工物）十四萬五千六百圓（陶器）五萬一千九百圓（製綿）五萬六千八百圓（染物）三萬三千百圓（洋服）六萬九千五百圓（靴）三萬三千六百圓（塗物）二萬一千八百圓（豆腐）三萬二千八百圓以上の如く前年に比する時は各商店共に二三割方の賣上減を示してゐるが之れを縣下三都市に對比すると遜色なき盛況を呈し而も隣村內郷、湯本、好間には大炭礦を有し小名濱、江名、四倉地方には豊富なる海產現あり隨つて其商業的中心をなす平町の商況は發達すると共に漸く複雜となつて活氣を添へて來たが未だ各營業者を連絡すべき機關がないので商業會議所若くはそれに準すべき機關を說置して商取引の萬全を期したいと同町有志連目下寄々協議中である

縣議改選期を前に 石城政友活動

來る十七日幹部會を

郡內各地に遊說

石城郡政友俱樂部では來るべき縣議改選に臨み諸般の準備打合せを遂げる爲め十七日午後一時から平町三丁目山田忠太郎氏方に最高幹部會を開く事に決定したが當日の幹部會にては豫選の段取にまで進む事は不可能と見られてゐるが本部の會則改正に伴ふ部會側の變更による發會式擧行の件及本部特派員兒玉亮次高橋熊次郎氏及八田宗吉堀堀善兵衛氏等の遊說部隊を迎ふるに當り開催日時場所決定其他の打合等であるが之れは大體に於て廿二三の兩日にて四倉、平、小名濱、植田を略決定し此期に於て豫選會を行ふ豫定であると

死体遺棄の 犯人の行爲

平署も活動

平警察署に數日前から警視廳刑事が來署し平署の應援を受秘密裡に搜査を續けてゐたが、仄聞するところに依ると過般大阪に起きた元稅務署長の屍体を自宅の二階に遺棄してゐた事件の責任者法學士柿本純一郎氏の行衛を搜査してゐたものであつたところ、當の柿本純一郎氏は十三日岩手縣盛岡市に於て逮捕され警視廳刑事は同地に急行した柿本法學士は平町に滯在して漸次盛岡方面に向つたものらしいと

精神病者が 入水自殺

四倉海岸に

石城郡四倉町高橋直三郎（四三）は最近精神に異狀を呈し平素から死ぬ／＼と口走つてゐるので家人が嚴重監視中すきを窺つて去る十日眞つ裸になつた儘家出したので搜索中のところ十二日四つ倉海岸海水浴場須川地內に溺死体となつて發見された

世をはかなんで 異郷に夫婦心中

鷹匠町の田代宗三郎

實母泣いて語る

岩手縣下西磐井郡中泉村中尊寺境內概林で去月四日夜現金三百圓その他高價な雜品數點、白紙に「關田根本一郎」百圓を地主へ二百圓を郷里へ寄附して下さいと書いたものを所持し麻縄を吊るし合意の縊死を遂げゐた紳士体の夫妻の身元につき右遺留品によつて岩手縣刑事課ではその後調査中であつたがはからずも十二日右の者は石城郡平町鷹匠町一三信次三男當時北海道札幌の役所技師年（俸五千圓）東京一ツ橋高商出身田代宗三郎（四五）妻とき子（三六）と判明した、右の報を齎らして鷹匠町に質商を營んでゐる同人の母リクを訪ふと「死なねばならぬ理由は見當らないが夫婦の中に小供なく常に仲はよくなかつた、そんな樣な事から宗三郎は最近佛數にこり始めたからそんな事が死の原因をなしたのでせふ」と語つた身元判明するど同時に勿來町關田に居住してゐる宗三郎の實兄並に親戚の者が死體を引取に行つたなほとき子は石城高女出身でなか／＼の美人であつたと

片濱自動車

平、江名發着時間

平町四丁目泉屋旅館前鈴木片濱自動車商會ではこの程平町江名間自動車を運轉し非常な便宜を與へてゐるが出發時間は左の通りである

▲平町發

（午前）六時二十分、八時一十分、八時五十分、十一時三十分

（午後）一時三十分、三時四時、五時四十分

▲江名町發

（午前）六時四十分、七時三十分、十時、十一時

（午後）一時二十分、二時二十分、四時二十分、五時二十分

人出の割合に 水揚げは僅少

平の舊盆景氣

待ちあぐまれてゐた平町の盆は幸ひに十五日は快晴となつて近年からの人出を著しく非常の雜沓を呈し流石の[illegible]通りさへ通りぬけの出來ぬ程であつたが人出の割合に各方面の商人にはそれ程の潤ひもなく張り合ぬけの形ちであつたが殊に鎌田遊廓を初め花柳界一帶の景氣と來たら先づ昨年の半分精精でせうと泣き言だら／＼であつた

處女の死

□松竹蒲田作品、奈良眞養、佐々木清野主演

矢島醫學士はみち子の專門醫として繁く東京から往診に來て居た、若い而も溫厚な矢島にみち子は人知れず戀に惱んだ、彼女は戀の病に斃れ湘南の地へ靜養に來て居るのだつた、或日友達の俊子が訪ねて來るとの便りがあつた、懷しい同窓の友との語らひを豫期する間もなく彼女の命脈は迫つて居た、が戀の囁言を摑む親友の俊子も矢島に戀して居た、二人は戀に悶えたがみち子の死に依り總ては美しく終りを告げた。奈良の矢島、松井潤子の俊子

無免許の運轉手 居眠り中の椿事

平町から盆踊り歸りの

若者四名が重傷

平町南部乘合自働車業芹澤正忠方雇人井上俊松（三〇）は無免許にも拘はらず十三日午前四時頃盆踊り歸りの石城郡上小川村の青年十六名を自働車に乘せ同郡平窪村地內縣道を差しかゝつた際自分も盆踊りしてつかれてゐたゝめ居眠りし作ら運轉してゐたゝめ操縱を誤り道端の電柱に激突自働車は大破し重傷者四名輕傷者數名を出した負傷者は直に平町上田病院に擔ぎ込み手當中だが渡邊武（一七）は生命危篤なほ井上は平署に引致され取調べを受けてゐる

▲重傷者　小川驛前渡邊武（一七）同上小川字上平松本豐（二二）同松本均（二四）同吉田田吉（二二）同松本敏夫（二三）外輕傷者數名

町村技術員大會

來る十五日午前九時

舊郡役所に於て

縣下各町村技術員大會は來る十六日午前九時より舊郡役所に於て開催する事に決定してゐるが縣よりの提出事項は左の如し

一、下級農會指導の狀況並に一層これが活動をうながす方法如何

二、市町村產業技術員普及に關する件

三、昭和二年度副業計畫に關する件

四、東北北海道聯合副業共進出品取纏に關する件

等にして縣廳よりは古賀、廣瀨、大垣技師等出席する筈

農事害虫講演

縣農事試驗場神谷分場主催農事講演會は十三日同分場に於て開き縣農事試驗場害虫部主任伊藤富三郎氏の「水稻害虫驅除」に關する講演があつた

妙見社の祭典 假裝行列

白銀青年團が

平町白銀青年分團員は來る十八日同町妙見神社祭典餘興として同日午後六時より假裝行列を擧行する事となり審查の上一等より十等迄賞品を進呈する筈である

給仕募集

男子十六、七才位身体强健にして自轉車に乘り得る市內居住者一名を募集す給料其の他委細面談希望者自筆履歷書持參本人來社あれ

磐城新聞社

今年架設の四十口 平局の電話抽籤

維持費二回分納

來る十八日町役場で

平局本年度電話特別開通抽籤は十八日午前九時から平町役場議事堂に於て伏見町長猪狩署長立會執行するが決定數は公益受理によるもの二加入申込順番によるもの一九其他抽籤によるもの一九の合計四十口で維持費四百八十圓內第一回百六十圓は決定後十五日以內に第二回三百二十圓は開通直前に納付するものであると

老爺の轢死

川前驛附近で

十二日午後六時三十分頃石城郡川前村大字山谷下字河原菊地菊治方前の鐵道線路に年齡五十四五歲位の勞働者風の轢死があつたのを通行人が發見して同村駐在所に屆出たので平署から佐藤巡査部長出張檢視を遂げたが何れの者とも判明せず死体は村役場に引渡したが發見の時間より推定して平發午後四時三十分下り列車かに觸れたのであると

大倉に快勝

更に遠征準備

平俱樂部

平町の野球チーム平俱樂部では曩に磐中を破つたので勢ひに乘じ茨城縣大倉炭礦野球部の招ぎに應じ十二日午後二時から同礦第四坑野球グランドに第一回遠征試合をしたが見ん事優勝し凱歌を奏して引揚げるを得たので更に日立及水戶へ二次三次の遠征をなすべく準備中である

小名濱の對岸の平潟町で貸座敷が廢業して飮食店になり、娼妓が酌婦とならうと願ひ出たのを、警察もそれは結構な事だと賞めてるから、いづれ其の內には一遊廓全部が商賣替をするようになるだろう◆それを又公娼廢止運動家の連中がレイメイの鏡のひざきのように喜んで大贊成してるのだから世の中は變つたものだ昔は公娼を保護して私娼の撲滅を計つたものだが、今度はアベコベに私娼獎勵、公娼廢止といふのだから面白い◆ダガ陰で梅毒や痲的が蔓延して鼻フガが多くなるようでは困つたものだ、ハヽアなるほどこれも時代の推移だ　私娼、公娼は云はない譯だ。

時言

平町の一ケ年商品賣上總額四百萬圓、但し之れは先刻岡部さんに申上げておいた分とちよつとも違つてオマヘン

□

自動車電柱に衝突して乘客四名重傷を負ふ、原因は無免許運轉手が御念入りにも居眠りをした爲め

□

どうした譯だなんて野暮を言ひなさんな、之れでぶツつからなかつたら電柱の方が無理なんだ

鎗と鐵砲

（投書歡迎）

盆踊禮讃

◇藝術の世界に於て日本人は先進國に後れてゐるといふことをです、それは藝術を以て無用視したり甚だしきは墜落視したり危險視したりする人があるからでせう、私は迷妄も甚だしいと思ひます、人生に藝術なく美がなくなつたら丸で砂漠でないでせうか、早く日本人の人間觀を根本から轉回して欲しいと思ひます。そして一歩進んでよい劇よい活動寫眞、よい音樂、よい繪畫、よい小說よいダンスを見ることをお奬めしたい。

◇それは只今流行の田舍ダンス即ち盆踊である、私は盆踊といふものをお恥しいことに二度しか見たことがない、一度は湖邊一度は平原で昨年湖岸近くに生れた私が平原の青年男女の盆踊を、あの太鼓あの音頭、あの手つき、あの足どり、あの腰つき、それよりもあの青い／＼月の下に若い男女が一つに融けあつたあの何とも言ひぬ情緒に包まれた夢のやうな世界バツカスの神達の踊りより上品なあの氛圍氣に、私は自ら手と足とを動かさでは止まぬ氣分になりました、

◇淡い／＼月の光りを蚊帳の中から眺めながらあの太鼓の音をかすかに聞いたあの氣分は今に忘れません、どうしてあれがやめられませう。二人や三人の間違ひ者は出來ませう、しかしどうしてやめられませう、私は今少し解放し今少し大舞臺にして誰やらの句にある如く「盆踊月落ちかけて二三人」月落つるまで一終夜踊ることをお奬めしたい。青年男女踊れ——踊れ田舍ダンスを（青楓）

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

ホシ美白粉
ホシ美水白粉
ホシ美煉白粉
ホシ美固煉白粉
ホシ美粉白粉
ホシ美クリーム
ホシ美ローズ香水
星製藥株式會社

登錄商標
醸造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話〔營業部一〇番
醸造工場二七番〕
振替東京一九七五五番
東京支店
上野車坂町四三
電話下谷五七二二番
振替東京六八三二番

平町田町
高久病院
電話五一三番
醫學士 高久忠
新潟醫學士 赤羽清
藥劑士 佐竹菊雄
內科小兒科、
外科花柳病科、
耳鼻咽喉科、
レントゲン科、

內科。外科。婦人科。
小兒科。花柳病科。
磐城病院
平町田町本通り
（電話一一四番）
入院隨時

そばハやぶ
味は純粹の東京式
配達は迅速の江戶兒式
△開業當時の職長本月六日
東京より來たる
（是非とも一度御試食を）
平町仲田町
やぶそば
電話一四一番

營業種目
內地材
材木各種、羽柄材各種
建築諸材請負
礦山用坑木其他諸材請負
外材部
米松、米杉、大角製材調達
請負 其他
佐藤材木店
常磐線平町 新川町
電話三三五番